

身近な薬草

畠山 敏

(花岡町神山
元農業改良普及所長)

シヤクヤク

利用部分(根)

県内各地で観賞用に栽培されているキンポウゲ科の多年草である。大別して洋シヤクヤクと和シヤクヤクに分けられているが、薬用には和シヤクヤクがすぐれている。栽培適地は冷涼地方が最適であり、国内では北海道、長野県などが生産地として知られている。また、薬用として用いられる根は植え付け後三年から五年の期間を要するので、掘り取りに達するまで切り花として利用されるとよい。



▲シヤクヤク

おいし〜いがっこ

上川沿農産加工婦人部

◆にんにくのむらさき漬け

材 料

にんにく	200グラム
酢	2分の1カップ
しょう油	2分の1カップ

＜作り方＞

- ① にんにくは、一片ずつとり、うす皮をむいておく。
- ② ひたひたの酢に、密閉して3日くらい下漬けしたら、ザルにあげ、水で酢を洗い落してふきんで水気をふきとる。
- ③ 広口ビンに、にんにくを入れ、上からしょう油をそそぎ、ふたをしておく。

＜食べごろ＞

1カ月ぐらいで臭みは消える。長く保存すると光沢がでてきて、味も良くなる。

＜応用と食べ方＞

にんにくは、そのまま食べてもおいしいが、にんにくをつぶしてしょう油でといて、さしみしょう油にしたり、肉類の「たれ」としてもおいしい。

クヤクには和シヤクヤクがすぐれているが、薬用には和シヤクヤクがすぐれている。栽培適地は冷涼地方が最適であり、国内では北海道、長野県などが生産地として知られている。また、薬用として用いられる根は植え付け後三年から五年の期間を要するので、掘り取りに達するまで切り花として利用されるとよい。

根は水洗い後、皮をはぎ湯通しして日干しにする。薬効は鎮痛剤、鎮痙剤、冷え症などに用いられ、婦人病の要薬として需要の多い植物である。クコ葉は盛夏に採取したものを水洗い後、蒸して乾燥し高血圧症、動脈硬化などの予防に利用される。また、熟した果実はクコ酒として疲労回復に効果があるといわれている。

山野に自生している落葉低木の多年草であるが、現在栽培化も進んでいる。葉は卵形で縦に条線がある、また、八月から九月にかけて葉のつ



◀クコ

〔設計主旨〕
秋田杉で包まれた立法体は、南面に市道を持ち、大館盆地に向かって開かれた台地にある。眼下には、長木川が緩やかなカーブを描き、その向こうに市街地を挟みはるかに森吉山が望まれる。この恵まれた環境の中で、より以上の自然との対話を求め、三階とした。

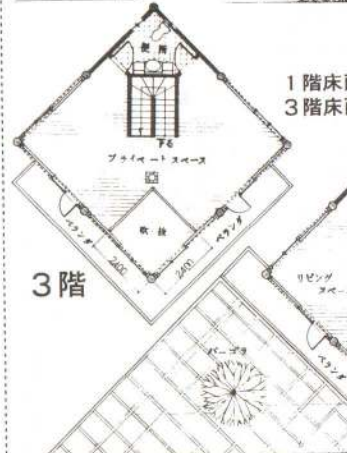
視線は、一日の疲れをいやす。開放されたダイニング・リビングは、暖炉の炎と共に住む人々に詩を語りかける。仕切りのないプライベートルームは、その時点における生活様式に対応できるよう、固定された仕切りを設けず、かつ窓は、左右いずれにも移動可能な構造とし、住む人々に展望の場であるこの空間を自由に演出させたい。

興そう伸ばそう 木目の美と香りの文化

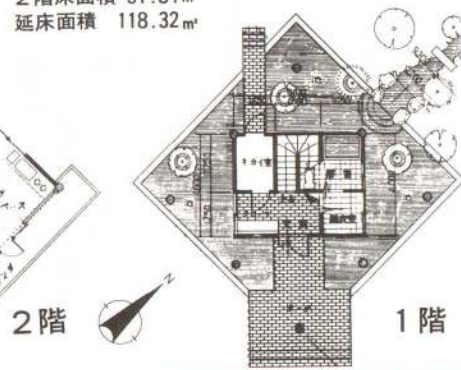
第1回木造建築設計コンペから④

池のある家

設計者 大森好一さん(鹿角市)
佐藤司さん(大館市字観音堂)
佐藤正勝さん(比内町)



1階床面積 20.42㎡ 2階床面積 51.84㎡
3階床面積 46.08㎡ 延床面積 118.32㎡



◆木造建築設計コンペについては

有浦5丁目木材会館内 木造建築設計競技事務局 ☎42~1124へ